

まちのわだい



▲指揮者体験をした1年生の川西 つばき 胤くん(右)と、3年生の植 えまな 愛耶ちゃん(左)



身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当(☎6550)までお知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!



ほんものの芸術ってスゴイ! 必佐小・西大路小で舞台芸術体験



▲児童8名が語り手や登場人物のセリフに挑戦した音楽物語「ピーターと狼」

9月21日(木)に必佐小学校でオーケストラ公演が、9月29日(金)には西大路小学校でバレエ公演が行われました。

これは、文化庁が主催する「本物の舞台芸術体験事業」で、小学生から高校生を対象に、優れた舞台芸術に触れることで、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことを目的としたものです。

必佐小学校では、仙台フィルハーモニー管弦楽団によるオーケストラの重厚なハーモニーが体育館中に響き渡りました。指揮者体験や、オーケストラと共演する「音楽物語」などがあり、指揮者を体験した3年生の植愛耶ちゃんは、「楽しかった!」と大満足の笑顔。

「小さいときに本物に触れるのは大事なことです。良い機会になったのではないかと思います」と鈴木校長。最後は、校歌をオーケストラの演奏で歌い、児童たちは本物のオーケストラの迫力に圧倒されていました。



▶事業所のチームごとに実施し、時間と的確さを競います



▶たくさんの方が募金してくださいました(平和堂日野店前)

地域の福祉、みんなで参加

赤い羽根共同募金の呼びかけ

10月1日から、今年も赤い羽根共同募金が始まりました。この運動は、北海道から沖縄まで全国で行われ、日野町では10月2日(月)、社会福祉協議会・共同募金会の皆さんが、平和堂日野店前で買い物客に募金を呼びかけられました。

皆さんからいただいた募金は、主に社会福祉協議会が実施する在宅福祉サービス事業や、ボランティア育成事業、児童の事故防止、青少年の健全育成などに役立てられます。

赤い羽根共同募金は、12月31日まで実施されます。

消火ヨシー! 救護ヨシー!

第25回初期消火大会開催

10月6日(金)、小雨の降る中、日野消防署前で第25回初期消火大会が行われました。これは、火災発生時の確かな消火活動を身につけてもらうと毎年開催されているもので、今年も日野町・東近江市旧蒲生町から30チームが参加されました。

◆大会の結果

【応急消火の部】

優勝 和気産業(株)物流管理センター

準優勝 (株)麗光日野工場

【屋内消火栓の部】

優勝 日野町役場

準優勝 三栄源エフエフファイ(株) 滋賀工場



まちのわだい



▲「私は・あなたが・大好き」という動作を教わる児童たち



▲バレリーナたちと同じステージに立ち、温かな拍手を受ける児童たち

西大路小学校では、松山バレエ団によるクラシックバレエが披露されました。体育館には、地元の幼稚園児やお年寄りなど大勢の方が詰めかけ、華麗な舞台に酔いしれました。

舞台では、バレリーナたちの練習風景や心構えなどが紹介され、「バレエは一日休むと自分に分かり、二日休むと他人に分かる」と、毎日の積み重ねが重要だと説明されました。

「白鳥の湖」「ロミオとジュリエット」「くるみ割り人形」など代表的なバレエ舞台の一幕が披露されました。

5・6年生の児童6名が妖精をイメージした衣装で登場し、バレリーナたちと堂々と共演する場面もありました。

舞台後、奥田ひかるちゃん(6年)は、「たくさんの人と踊れてよかったです」。森口真瑠光ちゃん(6年)は、「めっちゃ緊張したけど楽しかったです」と、興奮気味に共演の感想を話してくれました。

夢のような舞台で、バレリーナと共演できたことは、きっと一生忘れられない思い出になったことでしょう。



▲笑顔で元気いっぱいの演技を披露(滋賀学園チアリーディング部)

ゴー! ファイト!! 滋賀学園チアリーディング部

「スポーツ天国の日」で演技を披露

10月15日(日)に開催された「第25回日野町スポーツ天国の日」において、滋賀学園高等学校チアリーディング部がダイナミックな演技を披露されました。

グラウンドをステージに、音楽のリズムに合わせて、元気いっぱいの掛け声でポンポンを振り、足を高く上げてダンス。肩車をしたその上に、さらに人が乗り、塔が組み立てられ、塔のてっぺんから落ちる人を、下の人たちが受け止める度に「ワァッ」と上がる歓声。

見ている人に元気と勇気を与えるような力強い演技に、大きな拍手が送られていました。



▶消火栓を開けて、ホースを広げる参加者

防災意識を高めるために…

村井1・2・3区合同防災訓練

10月15日(日)、日野町第3公園(あおぞら園の隣)において、村井1・2・3区合同の防災訓練が行われ、地域住民約250名が参加されました。

日野町消防団第一分団員による消火栓の使い方の講習では、参加者が実際に消火栓を開けて、放水を体験。また、東近江消防署員の指導のもとバケツリレーや初期消火、応急手当の講習および訓練がありました。参加者は、三角巾や消火器の使い方などの説明に熱心に耳を傾けていました。

今回の訓練が、災害時の連携や対応を確認する良い機会になったのではないのでしょうか。